

竹下復興大臣記者会見録

(平成27年3月20日(金) 10:01～10:04 於) 復興庁記者会見室)

1. 発言要旨

今日は、私から報告することは1件でございます。

明日、土曜日でございますが、女川町と七ヶ浜町を訪問いたします。女川町は町開きといいますか、駅が完成をいたしまして、いわゆる「まちびらき」の式典に出席をいたします。七ヶ浜では、渡邊町長との意見交換と、笹山地区の防災集団移転の状況を視察する予定でございます。

私からは以上でございます。

2. 質疑応答

(問) 集中復興期間以降の復興事業の国費負担のお話で、ちょっとお伺いしたいんですけども。大臣は原発事故の被災地に関しては、国が前面に立つとおっしゃられておりますが、その被災地の定義なんですけども、被災地域なのか、被災地の事業の周囲なのか、ちょっと判断が判りにくいところがありましたので、それに関してお伺いします。

(答) 国が前面に立つと言っているのは、私もそうでありますが、総理がそのようにおっしゃっております。

それから、原発事故に由来する復興事業については、その総理がおっしゃる意味からして、全額国費で対応すべきものであらうと、こう私も考えております。ちょっと、地理的な概念とは少し違います。

(以 上)